

03 巻頭言

事務局長就任にあたって

浅野 洋介 (あさの・ようすけ)

ダイヤ高齢社会研究財団 理事事務局長

立教大学経済学部卒。1982年 明治生命保険相互会社(当時)入社。

堺支社堺営業推進部長等を経て、2007年 宮崎支社長、2010年 成田支社長、2013年 大阪南支社長。2016年 エムワイ商事株式会社(現 明治安田商事株式会社)社長。2018年6月から現職。

04 Dia Report

高齢者が「通いの場」に通い続けることを可能にする4つのポイント

澤岡 詩野 (さわおか・しの)

— 横浜市「元気づくりステーション」事業から —

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 主任研究員

東京工業大学大学院卒、工学博士。東京理科大学助手を経て、2007年より現職。研究テーマは高齢期の社会関係。業績として「都市のひとり暮らし後期高齢者における他者との日常的交流」(共著『老年社会科学』)、「都市部の企業退職者の社会活動と社会関係におけるインターネットの位置づけ」(単著『老年社会科学』)など多数。

08 フォーカス高齢社会

高齢者雇用を促進するための職業データベース活用術

西山 裕也 (にしやま・ゆうや)

— 高齢人材の職務能力評価への適用 —

中小企業診断士

東京理科大学大学院(機械工学)修了後、運輸省(当時)に入省。13年の間、科学技術庁、原子力安全・保安院、国土交通省、外務省にて、多岐にわたる行政分野に従事。公務員辞職後は、(公財)NIRA 総研にて高齢者就業をはじめとした政策研究に携わる。現在は、GR Japan(株)にて公共政策アドバイザーに従事する傍ら、中小企業診断士(2016年登録)として中小企業に対する経営アドバイスを行なっている。MBA(英国バース大学)。

10 財団研究紹介

認知症の人への支援の輪の広がり、支え手としての高齢者

森下 久美 (もりした・くみ)

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 研究員

琉球大学教育学部生涯健康教育コース卒。栄養士。桜美林大学大学院修了、老年学修士。現在、桜美林大学大学院老年学研究科博士後期課程在学中。研究テーマは認知症介護における家族介護者支援。認知症研究・研修仙台センター「認知症の家族等介護者支援に関する調査研究事業」(2017年度事業)において分析補助・成果物分担執筆等を担当。2018年3月より現職。財団では、「シルバー人材センターにおける健康維持増進効果の検証」を担当。

12 Dia Information

表紙写真について一言 「南越谷阿波踊り」と「手賀沼花火大会」

埼玉県越谷市で毎年8月下旬に行われる南越谷阿波踊りは、「徳島市阿波おどり」「東京高円寺阿波おどり」と合わせて日本三大阿波踊りと言われています。今年の開催予定は8月24日(金)〈前夜祭〉から26日(日)までで、60万人以上の人出が予想されています。千葉県北部に位置する手賀沼では盛大な花火大会が毎年8月初旬に開催されます。手賀沼周辺の我孫子、柏、沼南の3か所から約13,500発の花火が打ち上げられ大変な賑わいを見せます。今年は8月4日(土)午後7時~8時30分の予定です。

※ PHOTO 448 SCHOOL: 千葉県我孫子市で写真愛好家を指導している吉羽健二郎夫妻の名前-よしば(448)-に因んでいます。